

障がいのある人の雇用に取り組む



## 株式会社関西ダイエツクック (綾部市)

「京都はあとふる企業」です

【主な事業内容】

食品製造(総菜の製造・販売)

【障がいのある人の主な仕事】

容器の洗浄、アルコールの補充、ラベルのチェックなど

### 【障がい者雇用の経緯】

20年以上前に、特別支援学校からの依頼で、実習・採用したのが始まりです。現在4名の障がいのある人が働いています。2名は20年以上のベテランです。仕事の内容は、総菜の搬入に使う容器の洗浄作業や品質管理課の生産ラインでのアルコール補充作業、工場の手洗い場の掃除、商品のラベルチェックなどです。担当する業務を本人が無理なくできる内容に調整し、勤務時間も本人の状況に合わせた設定にしています。



### 【Tさんに聞きました】

22年目です。実習を経て入社しました。最初の仕事はジャガイモの芽取りでした。今は、容器の洗浄に変わりました。

機械の状態を確認してから作業します。夏は暑く水分補給は欠かせません。冬は水を使うので寒いです。節電・節水を心がけ、容器を高く積み上げ過ぎないように注意しています。休みは寝ていることが多いです。

### 【Nさんに聞きました】

Tさんと同期です。品質管理課のラインでアルコール薬剤の補充作業をしています。専用の機器を使い手袋とゴーグルを着け、補充します。作業者の使い勝手も考えて置いていかなければなりません。最初の頃は、難しくなかなかできなかったが、繰り返し教えてもらい覚えました。

友達が出来、買い物やドライブに行きます。

### 【日々の接点を大切に】

機械を使ったり、薬剤を扱ったりしますので安全対策や教育に努めています。また、商品のラベルチェック作業では、見本を見て作業していきますが、品種が多く繰り返し教えなければなりません。

日々の声掛けはもちろん、作業日報によって各人の状況を把握して、必要なサポートを行えるようにしています。

出退勤に問題はなく、長く働いてくれているので、安定した戦力になっています。周りもなくはない存在として接しています。